

令和元年度 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
調達等合理化計画の自己評価について

「独立行政法人における調達等合理化の取組の推進について」（平成27年5月25日総務大臣決定）に基づき、独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園は、事務・事業の特性を踏まえ、PDCAサイクルにより、公正性・透明性を確保しつつ、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組むため、令和元年度独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園調達等合理化計画を定めた。

調達等合理化計画に基づく令和元年度の調達に係る自己評価については、以下のとおりである。

1. 調達の現状と要因の分析

令和元年度の契約状況は、表1のようになり、契約件数は37件、契約金額は2.4億円である。また、競争性のある契約は19件、2.0億円、競争性のない契約は18件、0.4億円となっている。

競争性のない随意契約については、前年度と同様に18件中16件が平成30年度同様にライフライン（上下水道12件、ガス4件）であり、残りの2件については、官報掲載経費（財務諸表の公表）、不正通信監視サービス（サイバーセキュリティ基本法に基づき、政府機関全体として設置）で事業者が特定されていることから当法人会計規程第33条第1項（契約の性質又は目的が競争を許さない場合）に基づくものである。

次に、令和元年度の一者応札・応募の状況は、表2のようになり、一者応札は、企画競争で行った監査業務委託契約及び障害者支援記録システム、一般競争入札における強度行動障害寮改修工事設計業務であった。これらの業務は、特殊性（障害福祉サービスや障害者の理解など）のある業務にもかかわらず、通常契約と同様の手続きであったことから応募が少なかったと考えられる。このため、入札参加資格を有する業者に連絡し入札を促すとともに、障害者の理解の促進に努める。

表1 令和元年度のぞみの園の調達全体像 (単位：件、億円)

	平成30年度		令和元年度		比較増△減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(54.7%) 23	(86.1%) 3.1	(45.9%) 17	(75.0%) 1.8	(△26.1%) △6	(△41.9%) △1.3
企画競争・公募	(2.4%) 1	(2.8%) 0.1	(5.4%) 2	(8.3%) 0.2	(100.0%) 1	(100.0%) 0.1
競争性のある契約(小計)	(57.1%) 24	(88.9%) 3.2	(51.4%) 19	(83.3%) 2.0	(△20.8%) △5	(△37.5%) △1.2
競争性のない随意契約	(42.9%) 18	(11.1%) 0.4	(48.6%) 18	(16.7%) 0.4	(0.0%) 0	(0.0%) 0
合計	(100%) 42	(100%) 3.6	(100%) 37	(100%) 2.4	(△11.9%) △5	(△33.3%) △1.2

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の()書きは、令和元年度の対平成30年度伸率である。

表2 令和元年度のぞみの園の一者応札・応募状況 (単位：件、億円)

		平成30年度	令和元年度	比較増△額
2者以上	件数	24(100.0%)	16(84.2%)	△8(33.3%)
	金額	3.2(100.0%)	1.7(89.5%)	△1.5(46.9%)
1者以下	件数	0(0.0%)	3(15.8%)	3(100.0%)
	金額	0(0.0%)	0.2(10.5%)	0.2(100.0%)
合計	件数	24(100.0%)	19(100.0%)	△5(△20.8%)
	金額	3.2(100.0%)	1.9(100.0%)	△1.3(△40.6%)

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 合計欄は、競争契約（一般競争、指名競争、企画競争、公募）を行った計数である。

(注3) 比較増△減の（ ）書きは、令和元年度の対平成30年度伸率である。

2. 重点的に取り組む分野

(1) 令和元年度においても、前年度から引き続き「一者応札・一者応募に係る改善方策」に基づき、複数の競争参加となるよう積極的に取り組んできたが、3件の一者応札があった。このため、今年度実施した取り組みは次年度にも引き続き実施するとともに、障害者や障害者施設の理解の促進に努め、競争性の確保に取り組む。

【令和元年度の実績内容】

- ① 公告期間を10営業日から12営業日に延長
- ② 複数年契約の導入
- ③ 有資格業者への入札参加の勧奨

(2) 障害者就労支援施設等からの優先調達

令和元年度の障害者就労支援施設等からの実績については、下記の表のとおりである。平成30年度と比較して、件数は増加したものの、研究成果物の印刷がなかったことから金額は減少している。このため、次年度以降においては、園内行事等で障害者就労支援施設等から調達できる部門の検討を行い調達件数及び金額の増大を図るものとする。

令和元年度実績

件数	金額	備考
1件	4千円	書籍
4件	92千円	食料品・飲料
4件	311千円	印刷
2件	58千円	情報処理

※(参考)平成30年度実績

件数	金額	備考
1件	5千円	書籍
4件	543千円	食料品・飲料
2件	1,802千円	印刷

3. 調達に関するガバナンスの徹底

(1) 新たな随意契約に関する内部統制の確立

調達に関するガバナンスの徹底については、新たに随意契約を締結する案件については、理事会において承認を得た。また、会計課内において、会計規程等における随意契約によることができる事由との整合性等の確認を行った。

(2) 不祥事の発生の未然防止・再発防止のための取組

予定価格の取り扱いについて、限られた職員のみが担当し、契約担当役が押印したものを会計課金庫で保管することを徹底し、情報漏洩防止に努めた。

4. 推進体制

調達等合理化計画の推進にあたっては、各事項を着実に実施するため、理事（総括、人事、事業企画局担当）を総括責任者とする調達等合理化検討会を開催し、競争性のある調達については、事前点検を実施し契約監視委員会へ報告した。

また、新たな随意契約となる調達については、理事会において説明・報告し承認を得た。

なお、監事及び外部有識者で構成する「契約監視委員会」を年1回開催し、新規契約案件の審議及び事後点検結果報告等を行い、その審議結果については、ホームページで公表した。